

# 年次有給休暇を活用して 和歌山県の魅力に触れよう！



年次有給休暇を取得して、家族と過ごしたり、

アドベンチャーワールド

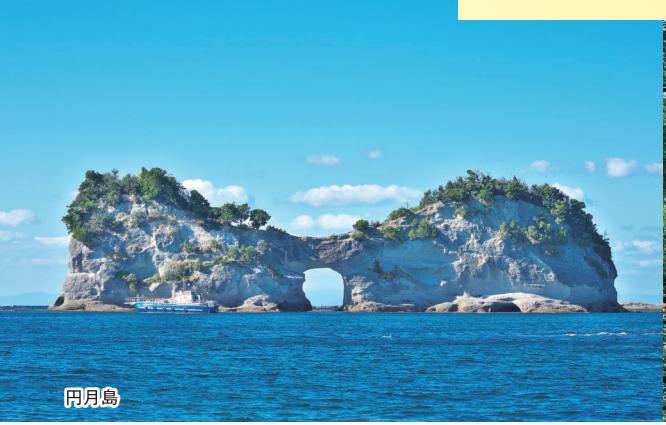


友ヶ島



和歌山城

地域の活動に参加したり、新しい働き方・休み方をはじめましょう。



円月島



青岸渡寺と那智の滝

写真提供：公益社団法人 和歌山県観光連盟

提供：アドベンチャーワールド

# 年次有給休暇を活用して 新しい暮らしを始めませんか！

## Point 1 季節のイベントを楽しむ



和歌祭



北山村観光筏下り

## Point 3 旬の味覚を満喫



みかん



桃（提供：紀の川市）

## Point 2 歴史や文化に触れる



高野山



熊野本宮大社

## Point 4 日々の疲れをリフレッシュ！



古座川町カヌー体験



熊野古道トレッキング

## 地域のイベントや自治体活動に あわせて年次有給休暇を取得しましょう！

年次有給休暇の取得は、労働者の心身の健康増進や、モチベーションアップ、生産性向上による企業のメリットだけではなく、地域活動への参加の機会が拡がり、地域社会の活性化に繋がります。誰もが暮らしやすい和歌山県の実現のために、年次有給休暇の取得促進に取り組みましょう。

## 年次有給休暇の「計画的付与制度」を 活用しましょう！

「年次有給休暇の計画的付与制度」とは、年次有給休暇の付与日数のうち5日を除いた残りの日数について、労使協定を結べば、計画的に休暇取得日を割り振ることができる制度です。この制度の導入によって、休暇の取得の確実性が高まり、労働者にとっては予定していた活動が行いやしく、事業主にとっては計画的な業務運営に役立ちます。

## ①日数 付与日数から5日を除いた残りの日数を計画的付与の対象にできます。

【例1】年次有給休暇の付与日数が10日の従業員

【例2】年次有給休暇の付与日数が20日の従業員

5日	5日
事業主が計画的に付与できる	従業員が自由に取得できる

15日	5日
事業主が計画的に付与できる	従業員が自由に取得できる

◎前年度取得されずに次年度に繰り越された日数がある場合には、繰り越し分を含めた付与日数から5日を引いた日数を計画的付与の対象とすることができます。

## ②活用方法 企業、事業場の実態に合わせたさまざまな付与の方法があります。

方式	年次有給休暇の付与の方法	適した事業場、活用事例
一斉付与方式	全従業員に対して同一の日に付与	製造部門など、操業を止めて全従業員を休ませることのできる事業場などで活用
交替制付与方式	班・グループ別に交替で付与	流通・サービス業など、定休日を増やすことが難しい企業、事業場などで活用
個人別付与方式	個人別に付与	年次有給休暇付与計画表により各人の年次有給休暇を指定

労働基準法が改正され、2019年4月から年5日間の年次有給休暇を確実に取得させることになりました。